



題字 竹中 綾子 書



「年長者が安心して暮らせるまちづくりをめざして」

若園校区社会福祉協議会 会長 築別 邦博

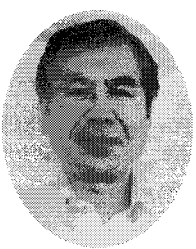
時下、皆様にはいかがが過ぎでしょうか。今年早々に新型コロナウイルスの影響で世界中の暮らしが変化して三密の制限と解除等、第2・第3の感染が予想され、小倉南区に於いては、「こどもまつり」も中止で夏の「まつりなみ」も中止となりました。全国的には高等学校の野球大会も中止、コロナで世界経済も一変し社会生活も様相も変化して先が読めません。

しかしながらこの様な時こそ、みんなで協力してお互いに助け合いの精神で頑張っていきたいと思えます。昨年に続き若園校区のモデル地区として生活支援事業も継続してまいります。有償ボランティア、ゴミ出し、買物などありましたら、町内会長、民生委員、福祉協



安心院 綾子氏 (小倉南保護区保護司)

この度、社協監事の安心院綾子氏(小倉南保護区保護司)が、令和二年春の叙勲で「瑞宝双光章」受章されました。謹んでお慶び申し上げます。報告致します。おめでとうございます。



若園校区の皆さん はじめまして

小倉南区社会福祉協議会 事務所長 米原 徹二

3月末をもって北九州市役所を定年退職し、4月から赴任しました。在職中は社協と関わる仕事はしておりませんでした。児童福祉や人権行政には比較的長く携わり、少しばかり

「福祉の心」を持ち合わせているものと自負しております。このたび、公務員の身分を離れて少し気持ちが楽になり、「さあ、気分一新」とばかりさっそく各校区をまわってみようと思気

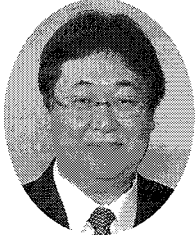
込んでおりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言の発令などもあり、やむなく事務所内に引き籠っている次第です。5月22日時点で緊急事態宣言は解除されています。今すぐに人々がマスクをはずして自由に交歓できるような状態に戻ったわけではありません。徐々に、そろそろ辛



「明るく楽しい雰囲気のあるふれあいの場」をめざして

若園市民センター 館長 大平 道夫

4月1日付で若園市民センターに新任の館長として着任いたしました大平道夫です。この地域の活動拠点として関係する各団体の皆さまと連携・協働、その意向を把握した上で信頼がベースの円滑なコミュニケーションのもと、生涯学習、地域コミュニティ活動、保健福祉活動の3本の柱を軸に地域の皆さまが気軽に集える明るい場を目指していく所存です。少子高齢化が一層進む中、社会福祉協議会の皆さんが推進するこの地域の助け合い活動、その支え合いの体制づくりを側面からではあります。連携して少しでもお手伝いが出ればと思っております。平成8年のスタートと



安全安心で豊かな学びができる学校を目指して

若園小学校 校長 城戸 祥次

5月25日から、ようやく学校が再開でき、学校に元気な声もどってききました。ようやく全員がそろったことに、ひとまずほっとしました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日から、約2ヶ月半にのぼる臨時休校期間は、子どもたちにも保護者の皆様にも辛い長い日々だったことと思います。また、地域の皆様には、多大なご心配をおかけしました。今年度本校は、昨年度の合言葉に一つ加えて、「わかっこあまがえる」1ヶ口の達成を目標に子どもたちを励まします。



地域の皆様のお力添えのもと、地域の宝である「わかっこ」が、安全安心にすこし、ふるさと若園を誇りに思いながら、たくましく成長していけるよう、全職員で頑張ります。よろしくお願ひします。

「継続的な学びと活動を団体活動につなぐ」

北九州市女性団体連絡会議 会長 築別 悦子

平成から令和へと元号が変わりましたが、皆様には新たな気持ちで男女共同参画に関するさまざまな啓発活動に取り組んでいただき、成果を上げることができました。新しい時代のスタートにふさわしくSDGsのトプランナーとして輝いて活動している女性の活躍満載の団体です。

次年度も会員の皆さまの取組を楽しみにしています。また、想像を越える自然災害が多発する中で防災に関する意識も高まり、女性防災リーダー育成研修実行委員会を立ち上げて令和元年度、福岡県「女性による元気な地域づくり応援講座事業」に採択されました。皆様におかれましては健康に留意され、令和2年度も会の目的に沿って、元気に楽しく、共に協力し活動してまいります。



2月25日、新型コロナウイルスの事が初めて報じられる約3ヶ月が過ぎようとしています。コロナ疲れに負けないように、どうぞ安全と健康にご留意下さい。私はコロナウイルスという目に見えない感染症を相手に、じっと耐えています。一日も早く新型コロナウイルス感染症を収束し皆様とお会いできる日を楽しみにしています。